

矢田川バープ工プロジェクト 第2回検討会（小さな自然再生現地研修会 共同開催）

○開催趣旨

第2回検討会は、日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の「小さな自然再生現地研修会」と共同で開催した。午前は座学にて河道内地形の事前モニタリングを学ぶ座学研修(講師：岐阜大学原田守啓准教授)、午後はバープ工設置前の事前モニタリングと現地調査を行った。

会議概要

■日時：令和2年11月13日(金) 10:00~15:30

■場所：ウィルあいち

- 参加者
- ・岐阜大学 原田守啓准教授
 - ・北海道技術コンサルタント 岩瀬晴夫氏
 - ・日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
 - ・矢田・庄内川をきれいにする会
 - ・愛知県河川課 計画G、環境G、改修G
 - ・尾張建設事務所河川整備課
 - ・環境局自然環境課 ・一般参加者

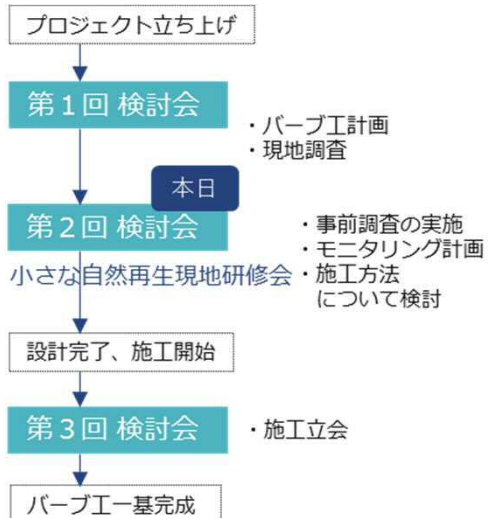
検討会の様子

〈左から、研修会状況①、研修会状況②、現地調査①〉



検討会での議題

○プロジェクトの進め方



○座学研修

- ・バープ工により期待される効果
- ・iRICによる地形変化予測のデモンストラーションなど

○事前モニタリング

- 横断測量
 - ・メジャーとスタッフで大まかな河川横断の測量を行った。
- 河床の粒径分布の調査
 - ・一定区間で河床の石を拾い、大まかな粒径分布を調べた。(ペブルカウント)
 - ・ふるい分け試験のための試料採取を行った。
- 流速・水深の調査
 - ・流速計にて、各地点の流速と水深を測定した。
- ドローンによる空中撮影
- 生息生物の観察



横断測量をする様子



ペブルカウントの様子

○主な意見

- ・バープ工の構造をもう少し長くし（川幅の1/3）、上流の魚道の影響を受けないように位置を下流にずらす。
- ・バープ工設置後は、バープ工の周辺の複数の箇所でモニタリング調査を行う。
- ・iRICを活用し、矢田川におけるバープ工設置後の土砂移動の地形変化の予測を行うとよい。